**第4回首都圏支部学会ハンズオンのお知らせ**

今学会のサブテーマでもあります、～臨床検査の新しい可能性～　にちなんで、新たなる検査領域を広げていただくお手伝いが出来ればと思い、超音波・筋電図ハンズオンを開催いたします。

【日時】11月15日（日）9：10～10：40

【ハンズオン内容】

はじめに各講師陣より15分程度の各領域の講義やライブデモを行い、その後に1人8分間のハンズオンを行います。

**≪超音波≫**『血管領域、消化管領域、運動器領域のハンズオン』

**「血管領域」**では、頸動脈・腎動脈・下肢動静脈を中心に、

**「消化管領域」**では、腹部消化管全般を、

**「運動器領域」**では、肘・肩関節を中心に、

それぞれの領域について講義とハンズオンを開催いたします。

検査をこれから始めようとしている方、経験が浅い方、指導者がいなくて困っている方など、初級者の方を対象といたします。経験豊富な講師陣による講義と実技指導で新たなる可能性を見出してみませんか。ハンズオンを申し込みなさらなくとも、聴講やハンズオンの見学は自由といたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

**≪筋電図≫**

**「末梢神経伝導検査の実際　コツとピットフォール」**

神経伝導検査（Nerve Conduction Study：以下NCS）は神経・筋疾患において非常に多くの情報を得ることのできる検査です。末梢神経障害の存在診断や局在診断はもちろん、筋力と複合筋活動電位（Compound Muscle Action Potential:以下CMAP）振幅を比較することで疾患や病態を推定することもできれば、フォローアップや筋力の予後判定にも有用な検査です。しかしながら一方で様々な原因による技術的エラーが起こりやすく、誤診につながることも決して稀ではありません。今回はこのような技術的なエラーを少なくし、再現性の良好な検査を行うためのコツとピットフォールについて解説できればと思います。

【講師陣】

超音波・血管領域：中野英貴（小張総合病院）

消化管領域：山本真一（東海大学医学部付属病院）

運動器領域：秋山忍（竜王共立診療所）

筋電図：田中理（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）、下河ナオミ（北里大学病院）

【定員】

血管領域：8名 、消化管領域：8名、運動器領域：8名、

筋電図：16名

【申し込み方法】

　下記の項目を記入の上、下記のアドレスにご応募ください。

**10月1日申し込み開始し、先着順**とします。申し込みから1週間以内に参加の可否と当日のご案内をいたします。１週間以内に返信のない場合は、

大和市立病院　臨床検査科　谷ヶ城（ヤガシロ）　TEL046－260－0111（2220）

にご連絡ください。（16時以降にお願いします。）

<申し込み内容>

①氏名　　（フリガナ）

②所属

③会員番号

④希望する領域（血管・消化管・運動器・筋電図）

⑤希望する領域で、希望する検査部位（　　）

応募先アドレス：syutoken\_handson2015@yahoo.co.jp

※検査部位によっては希望に添えない場合があります。

尚、1名につき1領域の応募とさせていただきます。同時に複数の領域にご応募の場合は、希望順位をご記入ください。

多数のご応募お待ちしております。